授業科目　社会福祉文化論Ⅰ

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	社会
山手　茂	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：ＧＩＯ>】

福祉文化の概念・意義を明らかにし、福祉文化創造活動の担い手としてのソーシャルワーカーの役割を検討する。

【<学習目標>又は<行動目標：ＳＢＯ>】

1．文化の概念ｔの研究方法を理解する。
2．ソーシャルワーカー自身の文化について理解する。
3．日本の福祉文化創造活動の担い手としてのソーシャルワーカーの役割を理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション－授業計画の説明		講義
2	Ⅰ．社会福祉思想と社会福祉文化との関係		（受講者が少なければ、
3	1．思想と文化との関係		討論のセッションを設ける。）
4	2．日本史創始と日本文化史との関係		
5	3．日本における福祉思想と福祉文化との関係		
6	Ⅱ．ソーシャルワーカーの文化		
7	1．「ソーシャルワーカーの文化」の理論		
8	2．ソーシャルワーカーの国際比較		
9	3．ソーシャルワーカーの条件－学問的基盤・倫理・専門職団体		
10	Ⅲ．福祉社会と福祉文化		
11	1．福祉社会の構成要素		
12	2．地域福祉と地域福祉文化		
13	3．患者・障害者と福祉文化		
14	まとめ		

【使用図書】	<書名>　<著者名>　<発行所>　<発行年・価格・その他>
教科書（必ず購入する書籍）	岩田正美編『社会福祉の原理と思想』有斐閣、２００３年、2,100円
参考書	随時、紹介する。
その他の資料	授業中に配布する。

【評価方法】
1．毎時間のレポート
2　学期末のレポート

【履修上の留意点】
1．学習意欲を持って、毎時間出席すること。
2．積極的に質問・意見を表明すること。